

船舶事故等調査報告書

平成25年8月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第32号
事故等種類	衝突
発生日時	平成25年2月11日 08時20分ごろ
発生場所	福山港 広島県福山市所在のJFEスチール福山港新涯導灯（前灯）から真方位063°730m付近 （概位 北緯34°27.7′ 東経133°24.9′）
事故等調査の経過	平成25年3月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{ロジャレイク ナリー} ROJAREK NAREE（タイ王国籍）、17,951トン 9288552（IMO番号）、PRECIOUS JASMINES LTD. B 作業船 ^{にちふく} 日福丸、224トン 134935、JFE物流株式会社
乗組員等に関する情報	A 船長A（タイ王国籍）、免状不詳 B 船長B、三級海技士（航海）
死傷者等	A なし B 軽傷 1人（水先人）
損傷	A 左舷中央部に擦過傷 B 左舷船尾部のフェンダー受台座、鋼製フェンダー及び外板に曲損等
事故等の経過	A船は、船長Aほか22人が乗り組み、着岸作業を終え、福山港JFEスチール輸出2号バースに船首を北方に向けて右舷着けで係留中、平成25年2月11日08時20分ごろB船と衝突した。 B船は、船長Bほか4人が乗り組み、A船の着岸支援作業を終えてA船の左舷中央部に船首着けしたのち、A船から下船した水先人を乗せ、A船から離れようとして右回頭したところ、B船の左舷船尾部とA船の左舷中央部とが衝突した。 船長Bは、次の作業の開始時間が迫っていた上、左舷後方に南進中の貨物船を視認したので、B船とA船との距離を確認せず、また、水先人の安全を確認せずに右回頭した。 水先人は、B船内の階段を上がっていたところ、衝突の衝撃でバランスを崩し、左頭部を強打して裂傷を負った。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>A なし、B あり A なし、B なし A なし、B なし</p> <p>A船は、福山港JFEスチール輸出2号バースにおいて、着岸作業を終えて係留中、B船は、A船に接舷し、A船から下船した水先人を乗せてA船から離れようとした際、船長Bが、次の作業の開始時間が迫っていた上、左舷後方に南進中の貨物船を視認したので、A船との距離を確認せずに右回頭したことから、A船とB船とが衝突したものと考えられる。</p> <p>船長Bが、水先人の安全を確認して右回頭していれば、水先人の負傷を防止できた可能性があると考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、福山港JFEスチール輸出2号バースにおいて、A船が着岸作業を終えて係留中、B船が、A船に接舷し、A船から下船した水先人を乗せてA船から離れようとした際、船長BがA船との距離を確認せずに右回頭したため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船首着けから回頭してその場を離れる場合には、前方の距離を確保した上で回頭を開始すること。 ・ 便乗者を乗せて航行を開始する場合には、便乗者の安全を確認すること。